



2023年10月13日

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 光 行 康 明
(コード番号: 3856 東証スタンダード)
問 合 せ 先: 執 行 役 員 IR・経 営 企 画 室 長 小 野 公 久
電 話 : 0 3 - 6 8 1 0 - 3 0 2 8 (代 表)

セル工場(フェーズ1) 竣工式開催のお知らせ

当社グループのベトナム VSUN 社の子会社の TOYO SOLAR 社(注)が建設中のセル工場(フェーズ1)につきまして、2023年11月下旬に、完工のお披露目といたしまして、竣工式を開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

(注)セル工場の運営を担う Cell Company 社は、近く TOYO SOLAR 社へ商号変更となる予定です。

太陽光パネルの主要部品であるセル(N型 TOPCon) を現状の外部調達から自社生産体制へ切り替えるべく、ベトナム国フートー省にセル工場(フェーズ1)を建設中(ただし、既に一部試運転開始済み)ですが、事業計画通り、今月完工予定となります。竣工式の開催について、準備に期間を要することによりまして、来月下旬の開催予定となります。

セル工場の建設は、プロジェクト全体で年間生産能力6GWの予定でしたが、一年前に計画した時点より導入する設備の進化と現状における試運転の結果を踏まえて、年間生産能力は8GWに達する見込みです。その内、フェーズ1は年間生産能力4GWを有しております。本設備投資の実行により、主要部品セルを現状の外部購入から自社製造へ順次、切り替えていく方針です。主要部品の安定調達により、グローバルなサプライチェーンの安定化、川上強化と共に、各国の輸入規制にも柔軟な対応を図ります。主要部品の内製化によるコスト削減を実現し、計画的な利益率の改善も推進いたします。

【セル工場(フェーズ1)の外観写真】





【セル工場(フェーズ1)の事業概要】

●太陽光パネルの主要部品セル、外部購入から自社製造へ

- フェーズ1・2に分けて、セル工場建設の設備投資を実行
- 【セル】年間生産能力: 8GW
投資総額: 約3億US\$(435.0億円*)
 - 主要部品の安定調達、各国の輸入規制に対応
 - ➡ 川上・サプライチェーンの安定化、市場競争力の強化へ
 - 部品内製化によるコスト逓減→緩やかな利益率の向上

* MUFG「外国為替相場一覧表」(2023年6月30日)を参考に、TTM(仲値)144.99円/US\$に基づき外貨換算。

●フェーズ1(年間生産能力: 4GW), 2023年10月下旬/完成予定

(1) 設備投資額	約1.8億US\$(261.0億円*)
(2) 所在地	ベトナム国 フートー省錦溪工業団地
(3) 敷地面積	約13.42ヘクタール
(4) 生産能力	年間生産能力: 4GW
(5) 製造品目	太陽光パネル製造の主要部品となるセル生産
(6) 決済方法	自己資金及び借入金により充当

* MUFG「外国為替相場一覧表」(2023年6月30日)を参考に、TTM(仲値)144.99円/US\$に基づき外貨換算。

以上